

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	仙台市立病院
業種	一般病院
事業所の紹介	昭和5年2月に開院して以来、80余年にわたり仙台市民の健康増進と福祉の向上に貢献してきました。平成26年11月1日には、あすと長町の玄関口にその象徴の一つとして移転・開院しました。 当院は災害拠点病院として、免震構造の採用や燃料の多重化によるエネルギー供給が図られています。また、救命救急センターを有する高度急性期医療機関として、24時間体制での施設運営を行っています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	仙台市環境行動計画及び仙台市立病院におけるエネルギー使用の合理化に関する取組方針に基づき、年平均1パーセント以上の削減を目標として、省エネ活動及び温室効果ガス発生抑制に取り組んでいます。

取組事例

1. コジェネ排熱の利用向上

○取り組み

コジェネ設備の総合効率を向上させるためには排熱を最大限利用することが重要です。これまで排熱を利用していなかった空調温水(暖房用)に利用できるように配管と熱交換器を増設したことで、排熱の利用率が向上しました。



取組事例

2. 蒸気配管の保温

○取り組み

蒸気バルブや蒸気配管の保温の徹底により、熱損失の低減を図っています。



3. 照明の集中制御

○取り組み

照明はスケジュール管理により点灯・消灯を制御しています。季節に応じて点灯・消灯するように設定するなど、照明点灯時間の短縮を図っています。また、共用部の照明については照度センサーによる調光を行っています。

